

## 豊岡市森林・林業ビジョンの策定

### ～コウノトリとともに次世代へつなぐ豊かな森林・林業を目指して～

市内の森林・林業の多様な課題に対応し、森林の持つ多面的機能を発揮させるために、戦略的な森林整備及び関連する取組の方針を示す「豊岡市森林・林業ビジョン」を策定した。

#### 1 策定の背景

- (1) 市内の森林は、かつては市民の手により管理され、成長した木を燃料や建築材として利用してきたが、今は安価な外材や他の燃料に押され、市民の暮らしと森林のつながりが失われつつある。
- (2) 1997年の「京都議定書」、2016年の「パリ協定」により、脱炭素化社会の形成が国際的な目標となった。国においては、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを表明した。
- (3) 森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、国は2019年3月に森林環境税と森林環境譲与税を創設し、2019年度から全国の市町村への譲与を開始した。
- (4) 森林整備や関連する取組に特化した財源確保が可能となったことから、これを活用した持続可能な林業と森林環境の保全、合わせて脱炭素社会の実現も見据えた新たな森林・林業の推進体制を構築する必要がある。

#### 2 現状と課題

##### (1) 市の面積の約8割が森林、そのうち人工林が約4割を占めている

豊岡市の森林面積は、55,274 ha、市域全体の79.2%を占めている。そのうち人工林面積は23,823 ha、森林面積の43.1%を占めている。(令和2年度兵庫県林業統計書による)

##### (2) 市内の人工林は主伐適期を迎えている

戦後の拡大造林で植林した、市内のスギやヒノキの人工林(2021年現在スギ56%、ヒノキ44%)は主伐適期を迎えている。

##### (3) 災害防止の観点から多面的機能の発揮が求められている

近年、異常気象や気象災害が世界中で多発し、気候変動の影響が顕在化している。2004年の台風23号では、本市においても人工林の風倒木による大きな被害が発生しており、災害防止の観点から森林の持つ多面的機能の発揮が求められる。

##### (4) 林業就業者の確保や雇用環境の向上が必要である

市内の林業賃金労働者数は、1980年度の334人から2020年度には54人と40年で84%減少している。加えて、林業就業者の高齢化も進んでおり、若手や新規就業者の確保や雇用環境の向上が必要である。

### 3 ビジョンの概要

#### (1) 目指す「将来のすがた」

野生復帰を進めるコウノトリをシンボルに、自然を守り豊かな環境を次世代へつなぐため、市民の暮らしにつながる豊かな森林や、地域の森林資源が持続的に活用される循環経済としての林業の実現を目指す。

#### (2) 期間

2023年度～2032年度（10年間）

#### (3) 対象

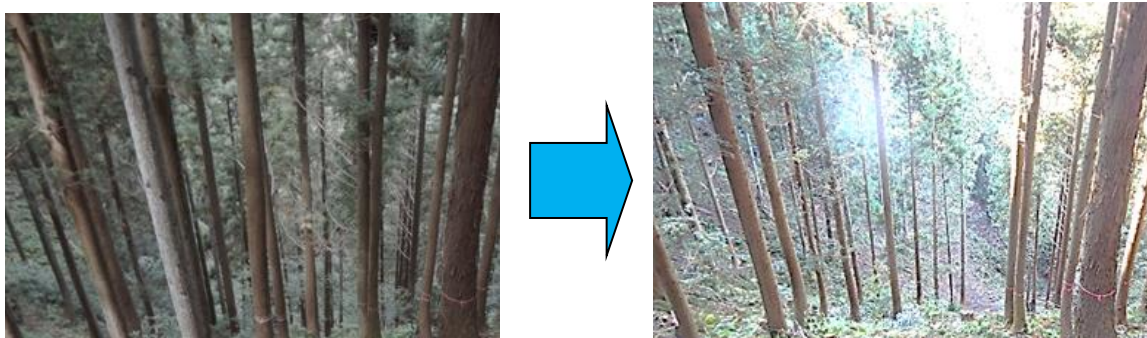
豊岡市のすべての森林とする。そのために、林業事業体をはじめとした市の森林・林業及びその促進に関わるすべての関係者（木材加工業者、建築業者及び行政機関等）を含め、全市民で取り組む。

#### (4) 主な方針と取組

「将来のすがた」の実現に向けた「4つの柱」を掲げ、それぞれに対する主な方針や取組を推進する。

##### ア 森林特性や地域特性に応じた森林整備を推進する（主に市内林業事業体）

- (ア) 「育てる、伐る、使う、植える」といった循環する人工林整備
- (イ) 森林の天然林化等による防災機能の向上
- (ウ) 住家に直接影響のある危険木の伐採や里山整備 ほか



人工林は一度に伐採せず間伐を繰り返し、収益を考慮した保育を目指す

##### イ 森林にふれる人（事業体等）の確保と育成を進める

- (ア) 新たな林業担い手の発掘と育成
- (イ) 他分野業種からの参入など森林に関わる事業体の確保と育成 ほか



若手や新規就業者など新たな林業の担い手を確保し、人材育成を目指す

## ウ 森林特性に応じた木材の利用に取り組む（主に木材加工業者、建築業者等）

- (ア) 市内産木材の利用促進
- (イ) 建築材とならない木材を木質バイオマス燃料として活用 ほか



市内の木造公共建築物



建築材とならない材木はバイオマス燃料として活用



## エ 人と森林のつながりを感じる事業を推進する（市民への協働と参画の啓発）

- (ア) 市民が森林とふれる機会の創出
- (イ) 「山～里～海」に関わる多様なステークホルダーとの連携 ほか



植村直己冒険館でのツリークライミングの様子

### (5) ビジョンの推進体制

ビジョンを推進していくため、官（市・県）民（地域内の森林・林業事業者）等によって構成される「(仮称)豊岡市森林・林業ビジョン推進委員会」を2023年度に設立する。

この委員会は、年度に3回程度実施し、市内の課題や実施事業の検証、次年度以降の取組等について協議する。

#### 《参考》

#### 1 豊岡市林業ビジョン策定検討委員会

##### (1) 設置年月

2021年6月1日

##### (2) 構成

学識経験者3人、林業事業者3人、林業等関係団体等職員2人の計8人

##### (3) 正副委員長

**委員長** ひょうご森づくりサポートセンター 山田 裕司（林業関係団体職員）

**副委員長** 兵庫県立森林林業技術センター 藤堂 千景（学識経験者）

##### (4) 会議回数

2022年10月までに5回開催

[問合せ] コウノトリ共生部農林水産課 TEL0796-23-1127(直通)